

ねじりはちまき

6月 水無月 芒種 夏至の月になりました。

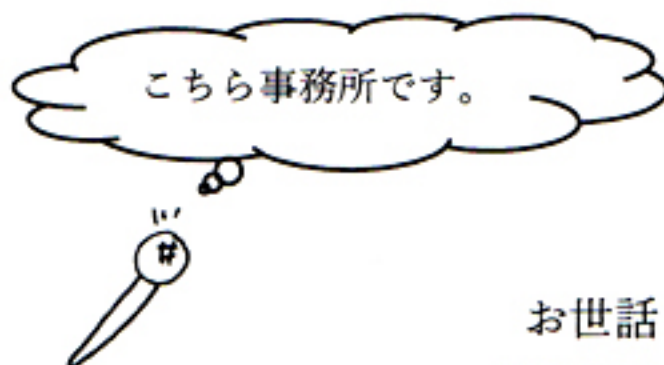
6月1日は衣替えです。6日は芒種。11日梅雨入りで、21日夏至と父の日になっております。

絹糸のような雨がしとしとと降り、アジサイの花が色鮮やかに咲く頃ですが、旧暦の6月は梅雨が明けてその暑さで水が涸れる月ということで水無月と呼ばれています。また、旧暦6月は風待月(盛夏になると風が止むことから)鳴神月(梅雨が明けたことを告げる雷が鳴る)常夏月、又は蝉羽月等々言われておりますが、いずれも梅雨が明けての盛夏の様子が伝わってきています。

新型コロナウイルスは大分静かにはなってきましたが油断は禁物です。徹底してウイルスが終息するまで頑張りたいと思います。

幸田常一

\*\*\*\*\*



お世話になっております。  
引き続き本宮市の現場で、水害による復旧工事を  
させていただきます。

## SDGsのこと

今回は SDGs のことについて取り上げたい。最近しばしば SDGs ということばを眼にするようになった。では SDGs とは何を意味するのか。定義的にいうと「持続可能な開発目標」といわれる。でも、これだけでは抽象的で分かりにくい。そこで、今何故 SDGs が取り上げられるようになったのか。そして具体的にはどのように取り組まれているのかを探っていきたい。これからいろいろ調べながら、紹介していきたいと思います。

SDGs は、5年前の2015年に国連で開かれたサミットの中で、世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標である。この目標は、2030年までの長期的な開発指針であって、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」として採択されたものである。

SDGs は、「17の目標」と「169のターゲット（具体的目標）」で構成されている。このうち「17の目標」がどんなものか次に掲げてみよう。

- ①貧困をなくそう      ②飢餓をゼロに      ③すべての人に健康と福祉を
- ④質の高い教育をみんなに      ⑤ジェンダー平等を実現しよう      ⑥安全な水とトイレを世界中に
- ⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに      ⑧働きがいも経済成長も
- ⑨産業と技術基盤をつくろう      ⑩人や国の不平等をなくそう
- ⑪住み続けられるまちづくりを      ⑫つくる責任・つかう責任      ⑬気候変動に具体的な対策を
- ⑭海の豊かさを守ろう      ⑮陸の豊かさを守ろう      ⑯平和と公正をすべての人に
- ⑰パートナーシップで目標を達成しよう

これらの目標に取り組むことにより、2030年までに持続可能なよりよい世界を目指そうとするものであり、地球上の「誰ひとり取り残さない」ことを誓っている。

実は、SDGs に先駆ける動きがあったことに触れておきたい。2006年に当時の国連事務総長であったアナン氏が金融業界に対して「責任投資原則」を提唱したのである。これはどういうことかという、金融機関などの投資家が企業に投資を行う際、その会社の財務内容を見るだけでなく、環境や社会への責任を果たしているかどうかを重視すべきという原則である。例えば、地球温暖化抑止の観点から CO2 を排出する火力発電には投資をしないということだ。現にこういう動きは国内の金融機関にも見られるようになっている。

さて、SDGs の認知度はどうだろうか。一部企業では真剣に取り組まれているが、総体としてはまだまだ低いと言わざるを得ないようだ。まして、個人レベルではいうまでもない。考えてみれば、時代状況からいえば、SDGs は政府・自治体・企業・個人挙げて取り組むべきテーマであると言える。次世代のことやグローバル視点で考えればなおさらである。日本の取り組み現状としては、ある調査ランキングで154ヶ国中15位だが、達成できているのは目標の④のみであるということである。

では、SDGs の「17の目標」に向けての具体的な動きとしてはどのようなことがみられるのだろうか。日本での取り組みの事例を紹介したい（外務省の取りまとめから）。

### <アーク・フロント(株)>

革新的新素材「LIMEX」を活用した環境問題への取り組み：水や木の使用を極限まで減らした環境価値の高い新素材の開発→普通紙1トンの生産には樹木を約20本、水を約35トン必要とするのに対し、LIMEX紙1トンの生産には石灰石0.6～0.8トンとポリオレフィン0.2～0.4トンで可能である。このことにより世界的な問題となっている森林破壊と水不足に対し大いに貢献するものである。

### <(株)アサクラ>

環境配慮型素材を積極的に取り入れたものづくり：①ポリ乳酸（PLA）不織布→植物由来の原料を使用した素材で、焼却してもその時の CO2 排出量は植物育成時に光合成にほぼ同等の CO2 を吸収するので自然にやさしい。土中では、バクテリアなどにより

炭酸ガスと水に分解され、分解される炭酸ガスと水は植物を育てる要素として再利用されるので、自然界汚染の原因となることはない。②再生（リサイクル）PET不織布：回収されたペットボトルをリサイクルして出来た不織布で、これは長繊維不織布なので、大変軽く、しかも丈夫で、長期間利用が可能である。

#### <アディットバリュー(株)>

「おから」を活用したクッキーの販売：豆乳や豆腐等の製造過程で年間70万tの「おから」が発生するが、食品に使用されるのが5%、飼料や肥料に使用されるのが45%、あと残りの50%は産業廃棄物として焼却処分されている。「おから」は食物繊維が10%近く含まれており、カロリーも比較的安く、カルシウムや大豆イソフラボンも含まれていて、食材として優れている。そこで、食品ロスをなくすことに貢献するため、おからクッキーを製造・販売する事業所と提携して、その販路を拡大する方策として、法人向けギフトを扱う業務を展開している。

#### <(株)イムラ封筒>

①再生紙を除く木材由来のパルプは、すべて“適正に管理された木材”とし、間伐材を由来とするパルプの使用量を2017年度比で3倍にする。これで、国内の間伐材の利用促進により、森林荒廃の防止、生物多様性の保全、山間地域の産業振興に寄与するものである。②製品の素材として利用するプラスチックフィルムを紙への転換を進める。③森林の間伐、植林などを通じた生物多様性の保全に寄与する活動に太陽光発電による利益の10%を投資する。

#### <(株)昆虫食の entomo>

昆虫は、人類が原始時代から貴重なタンパク源で、先進国では廃れているが、現在でも世界中の20億の人が食べている。当社は、「昆虫食は古代からきた未来食」をキャッチフレーズに、昆虫食を現代の最新技術により「伝統食」から「未来食」にアップデートし、昆虫由来製品とレシピの普及と昆虫食文化が再び広く根づくことを目指している。昆虫は牛や豚の数分の一で育ち、水もほとんど不要で、温室効果ガスもほとんど発生しないということで、飢餓・水不足対策や地球温暖化抑止に貢献する。

#### <(株)スマイリーアース>

大阪・泉州地域の豊かな自然環境と生物多様な環境の下で、「日本タオル製造発祥の地」として育んできた伝統地場産業を守り続けていくため、①タオル製造における化学薬剤依存によって引き起こされてきた河川汚染問題を改善していくため、産業排水を無害化する技術開発を独自の研究によって実現した。②またタオル製造時に使う熱エネルギー調達方法においても脱石油を実現するバイオマスエネルギー化を達成した。

以上、企業の取り組み事例をいくつか紹介したが、これは取り組み事例のほんの一部で、主に環境問題に関わるものを紹介してみた。企業のSDGsへの取り組み状況をみると、企業は今、収益を上げることをのみを目指すことは許されず、社会的貢献を併せて果たしていくことが求められている。皆さんはどう思われますか。

## 震災後初めての入山 福島県北東部 阿武隈山地の山々

### 富士山が見える北限の山

#### 【今回登った山の概要】

(う百：うつくしま百名山、数字は標高)

- ①5月26日(火) 花塚山 (う百、はなつかやま 919m、中通りの伊達郡川俣町と浜通りの相馬郡飯舘村との境界に位置する。)
- ② 31日(日) 口太山 (う百、くちぶとやま 843m、川俣町と二本松市：旧安達郡東和町との境界に位置する。)
- ③ 同 麓山 (う百、はやま 897m、羽山ともいう。二本松市：旧安達郡岩代町と東和町の境界に位置する端麗な独立峰。)
- ④ 同 日山 (う百、ひやま 1057m、天王山ともいう。二本松市：旧安達郡岩代町、双葉郡葛尾村、双葉郡浪江町、田村市：旧田村郡船引町、伊達郡川俣町に位置する。阿武隈山系で大滝根山(日本三百名山 1192m)に次ぐ第二の高峰、4郡境)

5月25日に「新型コロナウイルス感染症緊急事態解除宣言」が出されたが、都道府県境を越えた移動の自粛は引き続き求められていた。(5/26時点)。そこで、コロナ禍の中での県内の山行を改めて見直してみた。

すると2011年3月の東日本大震災以降全く足を踏み入れている山域があることに気が付いた。浜通り北部の原発地帯と中通りを隔てている県の北東部の阿武隈山地である。(大滝根山より北に位置する山々…南から、鎌倉岳(967)、五十人山(883)、移ヶ岳(995)、日山、麓山、木幡山(666)、口太山、花塚山などいずれもうつくしま百名山)

この山域は自宅からも近く(登山口まではほぼ1時間)、震災以前は何度も登っていた山々で、自分としては、自宅の所在する中通りへの放射能の拡散を防いでくれたのではないかと思っている。震災以降、放射線量が比較的高く山開きなどのイベントが中止されていたが、その後順次再開されても自分としてはなんとなく入山を敬遠していた。

コロナ禍をきっかけに自分で登ってみて放射線量を計ってみることにした。

- ①5月26日(火) 花塚山 (F1：福島第一原子力発電所から41.2km)

まずは、中通りの伊達郡川俣町と浜通りの相馬郡飯舘村との境界に位置する

花塚山に登る。この山は2017年1月に「富士山が見える北限の山」として認定されている。(一般財団法人日本地図センター発表)

自宅を9時半に出て県道川俣原町線を飯館村方面に向かい飯坂地区の標識に従い約1時間で、車止めのある花塚の里駐車場に着く。すぐ手前には「除去土壌等の一時保管仮置き場」(表示板)があり、固定された立派な線量計には、デジタルで $0.07 \mu\text{Sv}/\text{h}$  (※) と示されていた。

(※) マイクロシーベルト・パー・アワー:1時間毎の放射線量。以下同じ。

(参考)  $1 \mu\text{Sv}$  (イチマイクロシーベルト)

=千分の1ミリシーベルト ( $0.001\text{mSv}$ )

=百万分の1シーベルト ( $0.000001\text{Sv}$ )

駐車場所はアスファルト舗装で地上高約1mを持参の線量計(※)で計ったら $0.08 \mu\text{Sv}/\text{h}$ だった。(小数点以下第3位を四捨五入。以下同じ。)

(※) 使用機器:環境放射線モニターHORI B A R a d i。

M o d e l : P A - 1 0 0 0

10:55スタート。樹林帯の中を10分くらい歩いた花塚の里は傾斜地の自然の地形を生かして作られた公園でアスレチックや、ブランコ、長い滑り台などがあつたが、あまり使われていないようで荒れていた。今年の4月26日に予定されていた花塚山山開きオープニングイベントも新型コロナ対策のため中止になったようであり、草などもそれ以降は刈られていないようだ。

しかし、子供にたくさん遊んでもらいたい施設の入り口近くに「仮置き場」を設置する感覚が理解できない。いろいろ事情はあるのだろうが。

ちびっこ広場を過ぎると「放鹿(はなしか)神社」がありお参りする。右手が登山口で案内板があり、しめ縄がかかっている。アカマツ林の中の道は薄暗く、広葉樹の雑木林には光が差し込んで気持ちがいい。少し急なところもあるが道も歩き込まれていて、姥神様の石像や奇岩もあり、飽きないで歩くことができた。

護摩壇岩と山頂の稜線上の分岐を右手山頂に向かうと山頂手前に南側が開けたところがあつて、富士見岩の標識があつた。

「花塚山から日本一の富士山遠望に成功!」と書かれ、富士見岩から撮影した大きな写真と撮影した三人の顔写真が載せられた大きなパネルが設置されていた。撮影は2016年11月26日午前7時頃とのこと。この写真を根拠として日本地図センターに「北限の山」として認定されたのだろう。

山頂はすぐ先で南側が開けた小木に囲まれた狭いところで12:15着。二等三角点のところで線量を計ったら、 $0.69 \mu\text{Sv}/\text{h}$  (だった。

すぐ近くに口太山、その右に木幡山(こはたやま)、その先の左に麓山、その先

左側に移ヶ岳（うっしがたけ）、左手に緩やかに長く横たわっている日山。すぐ眼の下にはオレンジ色のヤマツツジが緑の中にあってきれいだった。

おにぎりを食べていたら、浜通り（太平洋側）から黒い雨雲が移動してきて冷たい風も吹いてきたので下山を始め、高さ3m位の上部が平らな大きな一枚岩の護摩壇岩に備え付きの鎖で登って南側と西側の景観を確かめた。遠くは雲でかすんでいてよく見えなかった。隣にある古い木造の展望台は立ち入り禁止になっていた。

13:45 駐車場着。雨がぽつりぽつりと降り出してきた。今回の山行はここまでとする。

この後、次回の山行のために、口太山の二つの登山口（川俣町大綱木と二本松市：旧東和町の夏無沼）を確認し、日山も二つの登山口（二本松市：旧岩代町田沢と茂原）を確認して帰途につく。途中大雨に降られた。

今回は山行中誰にも遇わなかった。

## ②5月31日（日）口太山（※）（F1から42.9km）

可能であれば一日で3山を登ろうと思い、7時に自宅発。口太山には震災前は旧東和町夏無沼から登った覚えがあったので今回は川俣町大綱木地区の登山口から登ることにした。本宮から岩代、東和・針道を経由して国道349号に出て川俣町に向かい、口太山トンネルを抜け標識に従い右折し、8時過ぎ大綱木登山口駐車場着。アスファルト上での線量は $0.16\mu\text{Sv/h}$ だった。

（※）山名の由来の一つに「朽ち人山」が訛ったものでその昔は姥捨て山だったとする説もあるとのこと。

中年の男女のペアが出発していった。

軽自動車なら通れる林道を15分ほど歩いていくと登山口に着く。駐車スペースもある。案内板の概念図を見て、反時計周りに一周することにし、登りは急登が続く「石尊神社コース」、下りは「猿の首取りコース」を行くことにする。勾配がきつい場合は下るよりも登るほうが安全。土の上の線量は $0.20\mu\text{Sv/h}$ 。

8:30 出発。樹林帯の中、花を探したり景観を楽しむゆとりのない急勾配の連続で、コロナ対策休館のためスポーツジムを1か月以上休んだ自分の体力の衰えを痛感させられた。ウグイスなど小鳥たちの鳴き声に励まされて約1時間10分かかって傾斜地にある石尊神社に着く。人工のものでなく、高さ3mくらいの大きな岩が斜めに重なって屋根の半分のようになり、手前には高さ60~70cmほどのアルミ製の円筒で作られた鳥居があり、奥に文字の判読できない錆びた宝剣のようなものが置かれていて、平たい石には賽銭が載っていた。

お参りして右に登っていくと9:45、雑草が混じった芝が張られている小広い山頂広場に着いた。三等三角点の脇で線量を計ると $0.35\mu\text{Sv/h}$ だった。

口太山愛好会の木柱の山頂標識や2005年に東和町観光協会、針道振興会などの建立した方位盤があった。真西に安達太良連峰、和尚山の左側は雲に覆われていた。右に東吾妻山や一切経山などの吾妻連峰がくっきりと見えた。北西の方角眼下に木幡山やUFOの里千貫森(う百463m)、その右手に女神山(う百599m)などが見えている。南側は赤松や広葉樹林におおわれて眺望は得られない。

ベンチでお菓子を食べていると対(ついで)のクロアゲハが2匹乱舞していた。トンボもいた。肩(胸)のところが黄色のずんぐりしたクマバチが数匹飛んでいて、そのうちの一匹が自分の目より少し高いところ、距離にして1.5mくらいまで何度も執拗に近づいてきた。目を離したら刺されるのではないかと感じたので、ストックを正眼に構え、何回か空振りして、その都度また飛んできて向かってきたが、10数回の空振りの後ついにカチンと音がしてクマバチは3mくらい離れた草むらに吹っ飛んだ。

10:15分「猿の首取りコース」を下山する。山頂のすぐ下で熟年男性3人組とすれ違う。

杉などの樹林の中、傾斜がきつい岩盤を水が流れている「猿すべりの滝」近くの湿っぽいところに陽が差し込んでいる道の脇に蛇がいた。通り過ぎるときに気が付いて振り返ったら鎌首を持ち上げ舌をチロチロと出してにらまれた。黒っぽい緑色、体長が1m以上あったので青大将か?

樹木は、ミズナラ、クリ、カエデ、アカマツ、ヤマツツジ、などきちんと表示されていた。駐車場11:00着。若者が二人山頂に向け出発していった。

11:15麓山に向けて出発。途中寄った「道の駅東和」は食堂・売店もオープンしていて客も結構いた。コンビニにも寄り登山口までの経路を確認する。前回に登ってから年数を経ているので忘れてしまっている。

口太山からも富士山が見える可能性があると考えられているが、まだ確認されていないとのこと。

### ③同日 麓山(F1から56.3km)

ちゃんとした駐車場はなく(見つからず)、林道の待避所の片隅に車を置き12:15歩き始める。未舗装の林道は荒れていて溝ができていたりして車高のある車でないと無理だった。下りてきた高年の男女ペアはヤマブキを採ってきたようだ。

林道から山道に入り、待避所から30分、最後が擬木の100段以上の階段を登った山頂には若い男女が6人、草むらに腰を下ろし食事をしていた。小型の犬を2匹伴っていた。

羽山神社の大きな丸太の鳥居と高さ1mくらいの石造の2基の社があり、露岩の山頂からの展望は素晴らしく方位盤もあり、阿武隈の山々、北に花塚山、その右奥に霊山(う百、りょうぜん805m)、東に日山、南に移ヶ岳や片曾根山(う百719

m)、西に吾妻・安達太良連峰も見渡せた。北西にはすぐ近くに口太山。南西には富士山が見えることになっているが霞んでいる(※)。

一等三角点の脇の放射線量は $0.27\mu\text{Sv}/\text{h}$ だった。

昼食を摂ろうとザックを下ろしたら、ワラビが目に入り、食事そっちのけで、結局1時間もワラビ採りをしてしまった。

遅い昼食を摂りながら、日山に行くかどうか考えていると、中年の男女二人ずつの4人組が登ってきた。今日2山目とのこと。

とりあえず日山の登山口まで行ってみることにする。14時過ぎ下山開始、14:30、日山に向かう。

(※) 麓山は2001年1月に「富士山が見える北限の山」として認定され、2017年1月に花塚山が富士山が見える北限の山と認定されるまで「北限の山」だった。(日本地図センター発表)。「富士山を遠望できる福島県内の山々」参照(「福島山々」データベース)

#### ④同日 日山 (F 1 から 33.8 km)

15時、日山登山口の一つ二本松市：旧岩代町田沢登山口に着。「公共牧場機能強化事業管理棟」前に車を停める。明るいうちには下山できると考えたので登ることにする。若いさわやかな男女のペアが下りてきた。聞くと自分と同じコース＝田沢口から登り、茂原口に下山し、車道を1km歩いて戻ってきたとのこと。アスファルト上での放射線量は $0.13\mu\text{Sv}/\text{h}$  (だった)。

15:10発、曇り空で樹林帯の中も薄暗い。牧場の脇の道から山道に入る。

ところどころに大きな重なった岩や奇岩もあり、花塚山や口太山、麓山と同じ感じ、阿武隈山系の特徴なのだろう。誰とも会わずに、16:07 オレンジ色のツツジの花が咲く無人の山頂着。緩やかな起伏のある山頂には田沢、茂原、葛尾地区の3つの日山神社がそれぞれの石の鳥居を構えて立っている。毎年10月の秋祭りには3地区から3匹獅子が登ってきて舞が奉納される、一度見たが賑やかだった。

丸太を組み合わせた高さ5m以上の展望台があり、望遠鏡(30×120 2° KOVE)が設置されていた。覗いてみたが霞んで富士山は見えなかった(※)。日山は長い期間「富士山が見える北限の山」だったが、麓山(2001年認定)、花塚山(2017年認定)にその座を渡してきた。麓山や花塚山にはない古びた望遠鏡に「北限の山」として君臨してきたプライドを感じた。

(※) 12月～から2月頃の空気が澄んで晴れ渡った日の早朝か夕方が狙い時とのこと。撮影には望遠レンズが必要で、簡単に肉眼で見えるのではないらしい。

三角点の標石の脇で計った放射線量は $0.26\mu\text{Sv}/\text{h}$ だった。

16:30当初の予定通り茂原口へ向かう。登ってきた田沢コースよりもゆるや



か。途中樹木が切り払われて陽が差している小広い原っぱにワラビがあり、15分くらい採る。心残りだが下山する。

移(うっし)コース(田村市:旧船引町)との分岐を超えて樹林帯から抜け出したところには、ワラビがいっぱいあったのでまたまた30分ほど道草を食ってしまった。ほんとに日が暮れてしまうと思いワラビをあきらめて下山を決断。

最後は石の階段を下りて茂原口18時着。ここはキャンプ場でバンガロー・炊事場や管理棟もあり、二本松市に合併する前に旧岩代町が「自然美術館」として整備してきたところで、西の麓山や、安達太良連峰、南の移ヶ岳の眺望が素晴らしい。

舗装路を田沢登山口まで下る。18:15発帰宅の途に就く。帰宅後量ったらワラビは3.3kgあった。来年は目的を純化した山行にすべきか(笑)

翌日本宮市「放射能除染・モニタリングセンター荒井支所」(荒井公民館)で放射線量を計ってもらったが、セシウム137、セシウム134とも「検出せず」(25Bq未満)だった。

## 令和2年6月 NO91 アンチ・エイジング 山旅遊人

### 4山の山頂の放射線量測定値

花塚山:0.69 口太山:0.35 麓山:0.27 日山:0.26

(参考)

○福島県ホームページ「ふくしま復興ステーション」:県内の放射線状況

測定地点	測定年月日	測定値	測定年月日	測定値
(F1からの距離:約)	(大震災直前)	( $\mu\text{Gy}/\text{h} \approx \mu\text{Sv}/\text{h}$ )	(現在)	
福島市(63km)	H23.2.14	0.04	R2.6.5	0.13
郡山市(58km)	H23.3.2	0.05	同	0.07
白河市(81km)	H23.2.15	0.04	同	0.06
会津若松市(98km)	H23.2.15	0.05	同	0.05
南会津町(115km)	H23.2.10	0.02	同	0.04
南相馬市(24km)	H23.2.22	0.05	同	0.06
いわき市(43km)	H23.2.14	0.06	同	0.06

○山旅遊人自宅(本宮市内某所)(F1からの距離:約58km)

測定地点 測定年月日 測定値( $\mu\text{Sv}/\text{h}$ )  
R2.6.7

自宅屋内 0.06

玄関・庭(アスファルト・土) 0.11

以上

<会社近況>

6月に入りました。連日、日差しが強く夏の陽気が続いていますね。車の運転をちょっとしただけでも腕がピリピリと痛くなってしまいました。

弊社の冷蔵庫も本格的に活動開始です。現場に持って行くお茶やジュース類を冷やしています。これからの季節は特にこまめな水分補給が必要になってきますね。のどが渴いたらお気軽に事務所にお立ち寄りください。お茶やコーヒーなどたくさん冷えています。

\*\*\*\*\*

守る☆6月

『紫外線対策』

どこにいても浴びてしまう紫外線。庭の植物のお手入れをしたり、洗濯物を干したり、買い物への外出など、紫外線には十分注意が必要です。

午前10時～午後2時頃までが強い日差しのピークだそうです。帽子、日傘、マスク、サングラスなどで紫外線を防ぎ、体へのダメージを少しでも防ぎたいものです。

健康のため、日光浴は必要ですが紫外線予防を上手に対策し、暑い夏を快適に過ごしたいですね。

\*\*\*\*\*

令和2年6月5日発行  
有限会社 幸田建設  
<発行責任者>幸田久美  
〒969-1204  
本宮市糠沢字八幡 1-1  
電話 0243-44-3816

<後記>

先月から入社いたしました星野と申します。まだまだ未熟ではありますが、精一杯努めて参ります。

どうぞよろしく願いいたします。

(ホシノ)